

---

# 逃走中 波間にゆれる陰謀

イグッチョ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

逃走中 波間にゆれる陰謀

### 【Nコード】

N2631R

### 【作者名】

イグツチヨ

### 【あらすじ】

国際的な港町に集められた17人の逃走者、果たして100分間逃げ切り賞金を獲得する逃走者は現れるのだろうか！？

## 始めの挨拶

はじめまして、イグツチヨと申します。

皆さんが書かれた逃走中の小説を読んではうちに自分も逃走中の小説を書いてみたくなり執筆を始めました。

文才が無く読みづらい部分がありキャラ崩壊があり更新もかなりのスローペースになると思いますが、出来るだけ早く効率良く更新が出来るように努力したいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

感想などに悪い点の指摘やアドバイスなどを書いていただくと幸いです。

最後に皆さん、本当によろしく願います。

## 逃走エリア

DATA

場所

国際的な港町（神戸市） 東京ドーム6個分

逃走時間

100分

賞金

1秒200円、満額120万

自首

「ゴッドビーチ296」前にある交番で巡査に自首を告げる。

エリア

大きく4つに分かれる。

東市街地エリア・・・神戸市役所や「クイーンズホテルKAMIHAMA」、神戸警察署、高さ296メートルを誇る超高層ビル「ゴッドビーチ296」などがたちならぶ（東京ドーム2個分）

西市街地エリア・・・業界、最大手のメガバンク「SGBANK」など、商業関係のビルが立ち並び、また、路地が入り組んだチャイナタウンの一部もエリアとなっている。（東京ドーム2個分）

市民公園エリア・・・東京ドーム1個分もの広さがある海沿いにある公園、草木が並び「憩いの茂み」と見通しの良い直線の「浜風

ロード」がある。

倉庫街エリア・・・レンガ造りの倉庫とコンテナがたちならぶ  
エリア、見通しが悪いが隠れる場所がたくさんある。（東京ドーム  
1個分）

## 逃走エリア（後書き）

次回は逃走者紹介です。

## 逃走者リスト（前書き）

参加する逃走者の紹介です。

## 逃走者リスト

「けいおん！」

かきふらい先生原作の人気四コマ漫画、廃部寸前の軽音楽部を舞台として4人の女子高生がガールズバンドを組みゼロから音楽活動を行っていくストーリー

2009年と2010年にはアニメ化され、関連楽曲や作中に登場する楽器などに注目が集まるなど社会現象とも言える大きな反響があった。

また、今年の12月3日に劇場版が公開、今春には、「まんがタイムきらら」にて再始動することが発表され再び注目を集めている。

参加者	目標	学年	パート
平沢唯	120万	3年	リードギター
秋山澪	120万	3年	ベース
田井中律	120万	3年	ドラム
琴吹紬	30万	3年	キーボード
中野梓	120万	2年	リズムギター
平沢憂	60万	2年	不明、作中ではピアノ、ギター、オルガンを演奏



「おおきく振りかぶって」

ひぐちアサ先生原作の人気野球漫画

公立高校の新設硬式野球部を舞台に、甲子園優勝を目指す主人公たちの成長を描く

試合描写は、論理的と評されることが多く一球ごとの細かな読み合いによる心理戦が展開される。

また、作品の舞台である埼玉県を本拠地としているプロ野球チーム『埼玉西武ライオンズ』が2010年に県営大宮球場で開催された、北海道日本ハムファイターズ戦の冠ゲームスポンサーに選んだことでも有名である。

参加者	目標	学年	ポジション
三橋廉	120万	1年	投手
阿部隆也	120万	1年	捕手
田島悠一郎	120万	1年	三塁手
花井梓	120万	1年	右翼手
栄口勇人	120万	1年	二塁手
水谷文貴	120万	1年	左翼手
巢山尚治	120万	1年	遊撃手
沖一利	120万	1年	一塁手

泉孝介	120万	1年	中堅手
西広辰太郎	120万	1年	ベースコーチ（左翼手）
篠岡千代	120万	1年	マネージャー
以上17名が逃げ回る。			

逃走者リスト（後書き）

次回ついにゲーム開始！！

## オープニングゲーム（1）（前書き）

ボヤキ的なもの・・・

自分が逃走中に出たら、ゲームを楽しむためには手段を選ばない（裏切り者もやるかも）。ま、芸能人にならないと逃走中には出れないのだけど・・・

## オープニングゲーム(1)

??「・・・・・・・・」

謎の人物がモニターを見ている。

モニターには CASTLE TOWN(城下町) PORT

TOWN(港町)

THEME PARK (遊園地) ACAD

EMIC CITY(学園都市)

の文字と映像が映し出されている。

??「・・・・・・・・」

謎の人物は、PORT TOWNの画面を迷わずタッチした。

早朝の神浜警察署の前に集められた17人の逃走者たち、

田島「っしゃー!!頑張ろうな三橋!!」

三橋「う、うん!!」

律 「いやゝすごい緊張するなゝこれは」  
梓 「そうですね、ライブとは違うドキドキです」

「これよりゲームを始める・・・！」

どこからか恐怖を感じるほど不気味なアナウンスが流れ始める・・・

「君達の目の前にいる5体のハンターはボックスの中に閉じ込められている。目の前にある色分けされた鎖は全部で17本、そのうち1本だけがボックスを開放するハズレの鎖、ハズレの鎖を引き抜いた瞬間5体のハンターが解き放たれゲームがスタートする。」

ハンターから逃走者たちへの距離は15m。

一人一人順番にボックスの目の前で鎖を引かなければならない。

水谷「やった、1番だ」

巢山「最悪だゝ17番、確実にハンターに追いかけられるのかよ」

鎖を引く順番は事前のくじ引きで決定している。  
すべては、運任せだ。

1人目は水谷文貴

栄口「何色を引くの？」

水谷「それじゃあ・・・ゼブラ!!」

阿部「何でそんな良く分からない色をいきなりえらぶんだよ」

水谷「こういうのって逆に怪しい色のほうが安全なんだよ!」

花井「とにかく17分の1だから安心して行け!」

ハズレの鎖を引けばハンターが放出され恐怖のゲームがスタートする。

クリアか・・・それともハンター放出か?

水谷「・・・いくよ!」

ジャラララッ

シーン・・・

水谷文貴 クリア

水谷「よっしゃー!!」

鎖を引き抜くことに成功した逃走者は離れた場所からスタートできる。

水谷「それじゃ、お先にーみんな気をつけるよ!」  
沖「いつてらっしゃーい」

2人目は西浦野球部の紅一点、マネージャーの篠岡千代

紬「千代さんは何色を引くんですか？」

篠岡「それじゃあ・・・トラを引きます!」  
全員「トラ!」?

憂「どうしてトラなんですか？」

篠岡「さっきの水谷君にならって怪しい色を引いて見ます」

ハズレの鎖を引いた場合5体のハンターが彼女に襲い掛かる。

篠岡「行きます!」

クリアか・・・ハンター放出か？

ジャラララッ

シーン・・・

篠岡千代 クリア



篠岡「皆さん、お先に失礼します。」  
唯「いいな」

3人目は、桜高軽音部部长、田井中律

漣「律は、何色にするんだ？」

律「黄色！！」

梓「どうしてですか？」

律「私のカチューシャの色！！」

漣・梓「（わかりやすい）」

律「いくよー！！！」

クリアーか・・・それともハンター放出か？

律「えーいつ！！！」

ジャラララッ

シーン・・・

田井中律 クリア

律「それじゃ、おっ先。みんな頑張れよう!!」

果たして、ハズレの鎖を引くのは誰なのか？

## オープニングゲーム(1) (後書き)

次回、ゲームスタート、ハズレの鎖を引いたのは果たして誰！？

## オープニングゲーム(2) (前書き)

つばやきのもの

この前、オールナイトでアニメ版「バカとテストと召喚獣」全13話とOVAを一気に見ました。あまりの面白さに深夜の時間なのにもかかわらず大爆笑、夏から始まる第2期に期待大です。

## オープニングゲーム(2)

その後、

4人目平沢唯が赤を引き抜いてクリア

5人目平沢唯の妹、平沢憂がベージュを引き抜きクリア

6人目西浦野球部4番、田島悠一郎がシルバーを引き抜きクリア

7人目秋山澪が青を引いてクリア

8人目三橋廉の女房役、阿部隆也が黒を引いてクリア

そして9人目は、

梓「私の番ですね・・・」

中野梓

150cmと小柄な体でゲームに挑む、

梓 「それじゃ・・・緑！」

栄口 「どうしてっすか？」

梓 「自分でもなんでかわからないですけど緑が一番気になるからです。」

梓 「・・・いきます。」

クリアか・・・ハンター放出か？

ジャラララッ

シーン

中野梓クリア

梓 「それじゃあ、先に失礼します。ムギ先輩も頑張ってください。」

10人目は、琴吹紬、

花井「琴吹さんは何色にするんですか？」

紬「それじゃあ・・・ピンクを、私も梓ちゃんとおんなじように気になっていたので」

紬「・・・いきます。」

ジャラララッ

シーン

琴吹紬クリア

紬「よかった。・・・皆さん頑張ってください。」

紬を見送る逃走者たち・・・

花井「これで・・・残ったのは俺たちだけか」

桜ヶ丘勢は全員クリアしてしまったため残ったのは西浦野球部員のみなのである。

11人目は、西浦高校のエースピッチャー三橋廉

泉「三橋!!何色?」

三橋「きつ・・・黄緑!」

沖「どうして?」

三橋「え・・・えっと・・・なんとなく」

三橋「・・・いついくよ!!」

クリアか・・・ハンター放出か?

ジャラララッ

ガコンッ!!

全員「うわあああ!!」



## GAME START

ハンターの標的になったのは・・・

三橋「・・・きつ来た・・・」

三橋だ・・・

持ち前の持久力で必死に逃げる三橋、しかしその差も縮まっていき、そして、

ポンッ

三橋 廉確保 残り16人

三橋「つ・・・捕まった・・・阿部君になんて言おう」

ピリリリリリ・・・      ピリリリリリ・・・

確保情報は、すぐにメールで知らされる。

梓 「『逃走中確保情報』・・・」

水谷 「『神浜警察署付近にて、三橋廉確保、残り16人』」

阿部 「あの野郎、ハズレ引きやがった、何やってんだよ!!!」

エリア内には放出された5体のハンターそのハンターから逃げた時間に応じて賞金が獲得できるゲーム

それが

run for money      逃走中

## オープニングゲーム(2) (後書き)

ついにゲームスタート、そして次回、早くも港町で事件が・・・

## ゲームスタート（前書き）

この話の副題は、「バカのテロリストと不穏な会話」。  
もうドラマパートの登場人物が丸わかりです。

## ゲームスタート

run for money 逃走中

今回の舞台は、国際情緒と近代文化が混ざり合う港町、「神浜」

市街地と倉庫街、市民公園を含めた東京ドーム約6個分のエリアを

16人の逃走者は、交通法規を守りつつ逃げ回る。

漣「うわっ！！凄い、1分しか経ってないのにもう一万円たまってる。」

賞金は1秒に200円ずつ上昇、100分間逃げ切れば賞金120万を獲得できる。

また、このゲームは自首もできる。「ゴッドビーチ296」前にある交番で巡査に自首を告げればそれまでの賞金を獲得しゲームからリタイアできる。

ただしハンターに捕まれば賞金はゼロ、彼らは脅威のスピードと持久力を併せ持つ、逃げ切るのは用意ではない。

梓「うわっ、大きな船、やっぱり港町は凄いですね。」

彼女がいるのは市民公園内にある「浜風ロード」、海に面している  
ので港の様子を一望することが出来るのだ。

梓「いつかあの船の上で先輩たちとライブできたらいいな」

バンド「放課後ティータイム」としての夢を語る梓、そこに近づく  
黒い影

梓「えっ、あっ！ハンター来てる・・・」

遠くにハンターを見つけた梓

近くの「憩いの茂み」に移動し木の陰に身を隠す。

ハンター「・・・・・・・・」

うまくやり過ごしたようだ。

梓「これじゃあ少しも気が抜けないよ・・・」

ハンターは神出鬼没、どこから現れるかわからない。

泉「こちら辺は入り組んでてわかりづらいな・・・」

彼がいるのは西市街地にあるチャイナタウン、いくつもの路地が網目のように張り巡らされている。

泉「見通しが悪いし移動するか・・・」

その近くに

ハンター「・・・・・・・・」

ハンター

泉「ハンターが何時出てきてもおかしくないっすよねここ・・・」

ハンター「・・・・・・・・！」

見つかった。

泉「やっぱりここに……やばっ!」

ハンターとの距離15m

路地を何度も曲がり逃げる泉だがハンターとの距離が縮まってい

そして

泉「うわあああ!」

ポンッ

泉孝介      チャイナタウン      青龍門付近にて確保、残り15人

泉「もう終わりか……悔しい」



その頃、今回の逃走劇の舞台「神戸市」ではある大事件が起きようとしていた。

とあるビルの地下ホール

リーダー「野郎ども！！ついに時は満ちた、これより腐ったこの国への制裁を開始する、その手始めにこの神戸の3ヶ所に爆弾を仕掛ける。」

リーダー「吉井！！土屋！！木下！！お前らはそれぞれA部隊、B部隊、C部隊を率いて目的の場所にこの特注の爆弾を仕掛けて来い！！」

吉井・土屋・木下「「了解！！！！」」

リーダー「いいか！！俺ら B L O O D Y J U L Y の恐ろしさ、見せつけてやるぞ！！」

グループ全員「「おおー！！！！」」

こうしてエリア3ヶ所に仕掛けられた爆弾、その横には、ハンター

が備え付けられていた。

ゲームスタート（後書き）

次回ミッション発動。

MISSION 1 Part 1 ハンター放出を阻止せよ + 通達 1 (前書き)

つぶやきのなもの

更新遅れてすいませんでした!!

部活や学校、はたまた家でも仕事を立て込んでいました。



漣 「怖いし今は動きたくない・・・」  
巢山 「今、自分がどこにいるかもよくわかってないし今回は行かない」

ミッションに参加するのは逃走者次第。

ミッションに参加するとハンターに見つかるリスクが高くなるが、ミッションに失敗すると逃走者は圧倒的不利な状況に追い込まれる。

梓 「浜風ロードってさっき私がいた所ですよね」

ゲーム開始直後、浜風ロードにいた梓、しかし移動してしまい今いるのは西市街地エリアである。

梓 「怖いですけど行ってみます」

ミッションに挑むようだ

唯 「ハンターが増えちゃうの？それじゃあ行かないと」

花井 「行くか」

憂 「これは行かないと」

西広 「ハンターが増えそうなんで行きます」

律 「かなり遠いけど行ってみるか」

これでミッションに挑むのは中野梓、平沢唯、花井梓、平沢憂、西  
広辰太郎、田井中律の6人のようだ。

ミッションに向かう田井中律、その元に

ピロロロロ・・・ピロロロロ・・・

一本の電話が・・・

律「電話・・・澪からだ」

どうやら幼馴染の秋山澪からの電話のようだ

ピッ

律「どした、澪？」

澪「ミッション行く？」

律「もちろん、ハンターが増えたら困るし・・・澪は？」

澪「怖くて動けない・・・」

律「そうか・・・まっ私に任しときな！」

澪「わかった、それじゃあお願い」

ピッ

漣 「律、任せたぞ」

篠岡 「みんな良い人そうだったんで信頼できます。」

紬 「きつとみんな行ってくれているはずなので任せてみます。」

阿部 「あいつらなら信頼できるし任せてみるか」

その様子と言動をモニター越しに見ている謎の人物

?? 「・・・・・・」

突如モニター画面をスライドさせ

現れた「TRAITOR CANDIDACY」という文字を迷わずタッチした。

ピリリリリ・・・ ピリリリリ・・・

唯 「また誰か捕まった？あつ通達だ」

巢山 「『通達？』」



阿部「今から1分間の間に先着一名である役割を募集する」

律「それは【裏切り者】」

漣「裏切り者は他の逃走者の位置情報を携帯電話でハンターに通報可能で」

唯「通報での確保1件につき賞金+10万円のボーナス」

沖「だが、本人が確保されてしまったら0円本部に連絡すれば立候補出来るが強制ではない」

通達1 裏切り者募集

エリアにいる5体のハンター、そのハンターに他の逃走者の位置情報を通報するのが裏切り者である。

裏切り者は通報した他の逃走者が確保されることに10万円の賞金ボーナスを手に入れる事が出来る。

だが裏切り者本人が確保されてしまうとボーナスを含めすべてが没収され0円となる。

その裏切り者を今から1分間募集する。立候補するかしないかは逃走者の自由である。

律「仲間を売るような人なんてこの中にはいないよ」

花井「いるわけ無いよな、そんな奴」

憂「こればかりはみんなを信じないと」

通達終了まで残り15秒

1 0 梓 「みんな頼むから立候補しないで・・・」

1 1

1 2 水谷「裏切り者、出てくるなよ」

1 3

1 4

1 5

9

8

7

ピリリリリ・・・      ピリリリリ・・・

逃走者の願いむなしく本部の電話が鳴った

??「\*\*です。裏切り者に立候補します。」

15人の逃走者のうち1人がこの瞬間裏切り者となった。

ピリリリリ・・・      ピリリリリ・・・

澪 「『通達？結果』」

梓 「裏切り者が現れた、そんな・・・」

田島 「裏切り者は他の逃走者を発見次第ハンターに通報する。気をつけたまえ」

憂 「それじゃあこれからはハンターの他に裏切り者にまで気を配らないといけないの？」

沖 「やばい、これじゃあ誰も信用できない」

裏切り者の出現に疑心暗鬼になる沖

その姿を

?? 「沖一利、『クイーンズホテル KAMIHAMA』前にいます。

」

裏切り者に捉えられた

裏切り者の通報を受け近くにいた2体のハンターが確保に向かう。

沖 「やばい、ハンター来てる・・・」

遠くから走ってくるハンターをいち早く見つけた沖、曲がり角を使い視界から消えようとする

しかし曲がった先に別のハンター

沖 「うわっ！！」

あわてて引き返しもう一方の道へと逃げる。しかしその先は曲がり角の無い直線道路。

追うハンターは2体、その差もどんどん縮まっていき

そして

ポンッ

沖 「裏切り者に見られたのか？でないとこんなに都合よくハンターが来るわけ無いし・・・」

沖 一利 裏切り者の通報によりクイーンズホテルKAMIHAM Aにて確保

水谷 「『確保情報、沖一利確保、残り14人』」

唯 「なおこれは裏切り者の通報によるものである」・・・」

律 「いきなり裏切り者？早すぎるでしょ・・・」

ゲーム終了まで残り91分 ミッション終了まで残り6分

エリアには5体のハンターと裏切り者、次回、恐怖がさらに加速する。

MISSION 1 Part 1 ハンター放出を阻止せよ + 通達 1 (後書き)

裏切り者が出ました。

みなさんも誰が裏切り者か予想してみてください。

あとゆうやんさんの小説で私イグツチヨが逃走者として参加しています。

よかったらそちらのほうもご覧になってください。

## MISSION 1 Part 2 ハンター放出を阻止せよ (前書き)

計画停電の無い今日を狙って更新です。



MISSION 1 Part 2 ハンター放出を阻止せよ

ミッション終了まで残り6分、ハンター放出を阻止できるか？

西広 「やっと着いた・・・どこだ？」

市民公園エリアの浜風ロードにたどり着いた西広辰太郎

西広 「爆弾は・・・あつた!!」

海の上に張り出した栈橋に爆弾を見つけた。

爆弾に近づく

西広 「このレバーを下げればいいんですね・・・」

ガシャン...

ハンター 一体封印

西広 「よしっ、これで大丈夫だ、他のところにも行ってくれているかな・・・」

律 「この先だな、急がないと・・・」

神戸市役所に向かう田井中律、

しかし、その前方から

ハンター「・・・・・・・・」

ハンター

律 「っ！ー！やばい、いる！ー！」

あわてて道を引き返す律、しかし

ハンター「・・・！」

気づかれた。

逃げる律、その前方に

梓 「道はこっちであってますよね？」「

中野梓と・・・

花井「多分あのタワーの近くなんであっていると思いますよ」

花井梓だ

律「ハンター来てる！！逃げろ！！」

律の声によってハンターの存在を知った2人、律も加わり3人で逃げる。

ハンターを振り切るため、T字路で二手に分かれる3人

左に曲がった律と梓、そして右に曲がった花井

ハンターの標的になったのは・・・

律・梓「ハア…ハア…」

花井「・・・っ！！こっちかよ！！」

花井だ

全速力で逃げる花井、しかしその差も縮まっていき・・・

ポンッ

花井 「もうだめだ〜!!」

力尽きた西浦高校野球部主将

花井梓 神浜近代文学館付近にて確保、残り13人

梓 「かなり遠く離れたし今回はあきらめます。」

律 「だよな、はつきり言って今動くのは正直怖いよ」

あきらめた2人・・・

これでハンター放出に向かっているのは

唯 「この橋、渡るの怖いな・・・でも、行かないと」

憂 「早く行かないと・・・」

平沢唯と平沢憂のみ。

ミッション終了まで残り4分、ゲーム終了まで残り89分

## MISSION 1 Part 2 ハンター放出を阻止せよ (後書き)

お知らせ

計画停電の影響で思うように更新できない状況です。

なのでここでいったん休止させ計画停電が落ち着くまで下書きを書き溜めようと思います。

なお実況投稿は不定期ですが更新を続けます。

よろしくお願いします。



**M I S S H O N 1 P a r t 3 ハンター放出は阻止できたのか!?(前書き)**

お待たせしました、更新を再開します。

M I S S H O N 1 P a r t 3 ハンター放出は阻止できたのか！？

ミッション終了まで残り4分、ミッションに向かっているのは平沢  
唯と平沢憂のみ

ハンター放出を防げるか？

憂 「市役所つてここですよね…」

神戸市役所にたどり着いた平沢憂

憂 「あの黒い箱ですか？」

正面玄関横に置かれた爆弾を見つけた。

ガシャン…

ハンター2体目封印

憂が封印したことによって残っている爆弾は、ゴッドビーチ296  
展望台のみ

そこに向かってるのは、平沢唯ただ一人

唯 「急がないと…ハンターが出ちゃう」

ミッション終了まで残り2分

唯 「やっと着いた…」

ついにゴッドビーチ296にたどり着いた唯、

最上階の展望台に向かうためエレベーターに乗り込む

ミッション終了まで残り1分

唯 「もう時間が無い…早く早く」

エレベーターが最上階である64階に到着

ミッション終了まで残り20秒

20

19 唯 「爆弾はどこ？」

18

17

1 6 唯 「あつた!!」  
爆弾を見つけた唯急いでレバーの元  
に向かう

1 5

1 4

1 3

1 2

1 1

10 唯 「よし、せーの!」

ガシャン…

ミッション成功、ハンターの放出を阻止した。

唯 「よかった〜間に合ってた〜」

唯がレバーを下げたのはミッション終了残り9秒前、本当にギリギリだった。

ピリリリリ…

ピリリリリ…

巢山「『ミッション1結果』」

律「ミッションクリア、西広辰太郎、平沢憂、平沢唯の活躍によりミッションクリア」

梓「ハンターの数はい体のまま…、よかった、唯先輩と憂が行ってくれた。」

水谷「西広のやつかっこいいな、俺も行けばよかった。」

とある車の車内

リーダーが電話で仲間から報告を受けている。

リーダー「何だと？爆弾が爆発しない？」



木下 『どうも、サツが嗅ぎ付けちゃったようなんだ、どうする？』

リーダー「仕方ない、作戦は失敗だ、いったん戻って体制を立て直す。他のやつらにも伝える！！」

木下 『わかった』

ピッ

リーダー「ちっ 国家の雑兵どもが…」

憎々しげにつぶやくと車をアジトに向かって走らせた。

一方、神浜警察署では市内3ヶ所に仕掛けられた爆弾が見つかったため

神浜市特別テロ対策本部が設置された。

警部 「今回発見された爆弾にはこの国を中心に暗躍する過激派集団『Bloody July』のマークが描かれていた。」

警部 「犯人グループが『Bloody July』である以上、また何か行動を起こす可能性が高い、気を抜くなよ!!」

「「「はいつ!!!」」」

警部 「それと、今回の指揮は、百枝と山中にとらせる!2人とも頼むぞ!!」

百枝・山中「はっ！！」

警部 「今回は、特殊部隊の出動を視野に入れて捜査を行う、いいか、日本の警察のメンツにかけてなんとしても『Bloody July』リーダー、坂本雄二を逮捕するぞ！！！捜査開始だ！！」

「「「「応！！！！」」」」

こうして警察と、テロリスト『Bloody July』の抗争が火蓋を切って落とされた。

M I S S H O N 1 P a r t 3 〱 ハンター放出は阻止できたのか!?(後書き)

何とか、更新を再開することが出来ました。

実況投稿のほうも近々更新を再開したいと思います。

**MISSION2発動!! (前書き)**

また遅れてしまった：反省Orz

## MISSION 2 発動!!

残り時間 7 5 分                      残っている逃走者は 1 3 人

栄口 「今の時間は 7 5 分だから… あっ！ 3 0 万超えた。」

紬 「目標を超えたし、自首しようかしら…」

このゲームは自首もできる、ゴッドビーチ 2 9 6 前にある交番で調査に自首を告げればその時点までの賞金を獲得することが出来る。

紬 「でももうちょっと、もうちょっとだけ頑張ってみます。」

賞金に心が揺れる…

再び市民公園エリアへとやってきた中野梓、

梓 「律先輩と別れてから誰も会ってない… 誰かいないかな？」

しかしその前方からやってきたのは逃走者ではなく

ハンター「……………」

ハンターだ…

そして

ハンター「……………!」

気付かれた

梓「この近くに……にゃー!」

ハンターの接近に気付いた梓、あわてて逃げる、その距離……およそ  
50m

梓「こっとなったら……えいつ!」

近くの草むらに飛び込む梓

ハンター「・・・!？」

いきなり目標が視界から消えたハンター草むらに隠れた梓に気付くことなくそのまま立ち去った。

梓「行つたかな？」

なりふり構わない行動が功を奏したようだ

唯「あつ牢獄だ」

神浜警察署前の牢獄にやってきた平沢唯

牢獄DEトーク

花井「あつ平沢さん」



唯の姿に気が付いた花井が彼女に声を掛ける。

沖 「凄いすね平沢さん、女の子なのにミッションに行くって」

唯 「いやいやそれほどでも」

沖 「俺なんかミッションに行くかどうか決めようとしたときに捕まったんですよ、それも裏切り者に通報されて」

唯 「それはそれは…」

泉 「そっちはまだ良いよ、こっちなんかミッションのメールすら来ないうちに捕まったんだから」

唯 「花井君はどうして捕まったんですか？」

花井 「こっちは中野さんと一緒にミッションに向かってたら田井中さんが前からハンターを引き連れて走ってきて…」

沖 「それに巻き込まれて捕まったのか？」

花井 「そう、丁字路があつて左に田井中さんと中野さん、右に俺っ  
て感じで分かれたらハンターがこっちに来て…どこかの誰かさんじ  
やないけど本当に不幸だったよ…」

唯 「ツイてなかったですね」

泉 「そういえば今のところ捕まったのって俺達だけじゃない?」

沖 「言われてみれば」

花井 「そう考えるとすごいっすね桜ヶ丘女子高等学校」

唯 「いやいや、ただツイてるだけですよ、あっそろそろ行きますね」

花井 「あっ頑張っして下さい」

沖 「気を付けて」

泉 「絶対逃げ切ってくださいね」

唯を見送った3人と隅っこで小さくなっている1人

花井「つて三橋！！お前何時まで隅で小さくなってるんだよ！？」

泉「阿部だつてそんなことで怒るわけ無いだろ、ただ運が無かつただけなんだから」

沖「いい加減元氣出せよ…」

牢獄の中は唯が去つたあとにぎやかだった。

西市街地エリア 神浜駅からゲーム開始直後からほとんど動いていない秋山澪

その視線の先には

ハンター「……………」

ハンター

彼女が居るのは、駅前広場の植え込みの陰、建物と植え込みによつ

てロータリーからは死角となっており覗き込まれない限りは見つか  
らないのである

そしてハンターは漑に気付くことなく通過

漑 「折角こんな良い場所を見つけたんだからあまり動きたくない  
…」

田島 「いくらなんでも見通しが悪すぎじゃないの？」

彼が居るのは倉庫街エリア、コンテナが多く見通しが悪いがその分  
ハンターの視界からも消えやすい

田島 「そういえばさっきのミッション凄いつすねテロリストが爆弾  
つてあれっ？ いやな予感がする…テロリストまた何かするんじゃない  
の？」

とあるビルの地下ホール

リーダーの坂本の周りに吉井、木下、土屋、須川が集まっている。

坂本「爆弾は失敗に終わったが、作戦は予定通り第二段階へと移す」

坂本「須川！お前は吉井と組んでF部隊とA部隊でSGBANKを襲え」

吉井・須川「はっ！！」

坂本は吉井と須川がホールから出て行くのを確認すると今度は木下と土屋に話しかけた。

坂本「お前らに内密に調べてほしいことがある」

坂本「爆弾の件もそうだがどうも警察の動きが異様に早いんだ、あくまで推測だがどうも俺達の近くに俺達の情報をサツに流しているサツの密偵が居るようなんだ。念には念を入れてそれを探ってもらいたい、くれぐれも目立たないようにしてくれよもし本当に密偵が居て俺らが探り始めたのがバレたら完璧にアウトだ…気を抜くんじやねーぞ」

木下「わかった、行くぞ土屋」

土屋「……………了解」

そのころ

吉井「野郎ども、行くぞ!!」

「「「っしゃー!!!!」」」

吉井「今度こそサツの連中に一泡吹かせてやる…」

その言葉と同時にテロリスト部隊が乗った3台のライトバンが走り出した。

その様子をモニター越しに見ている謎の人物

??「……………」

またもモニター画面をスライドさせ今度は「AREA CONTR  
ACTION」という文字をタッチした。

残り時間 7 1 分

逃走者 1 3 人

## MISSION 2 発動!! (後書き)

最近、禁書目録や超電磁砲など、とある関連の楽曲にはまってますまだOPしかそろってないですけど今度EDやキャラソンにもチャレンジしてみようかな？

それにしてもまさかfripSideのボーカルが工藤愛子の声優だったとは…

「only my railgun」や「LEVEL5-judg  
elight-」、「future gazer」はもう百回ぐら  
い聞いているのにぜんぜん気が付かなかった…



M I S S H O N 2 P a r t 1 エリア縮小を阻止せよ！…（前書き）

超電磁砲の第二期かとの噂を最近よく耳にします。

本当なら嬉しいけどそれより先に

出来れば超電磁砲一期を再放送してほしい…

話は変わりますが、次回の逃走中はどうやら5 or 6月らしいですね…

今度の舞台はどこになるんだろう…（ちなみにネットでは和田アキコ参戦という明らかにガセっぽい噂が流れていました。年末に首を怪我してるしさすがに無理でしょ…）

## MISSION 2 Part 1 エリア縮小を阻止せよ！

残り71分

残る逃走者13人

ピリリリリ…

ピリリリリ…

梓「にゃっ！！　メ、メールですか…ビックリした」

紬「『ミッション？』」

田島「爆弾によるテロを妨害されたテロリストが現在SGBANKを襲撃するため市街地西エリアに向かっている」

漣「残り55分になると、テロリストがSGBANKに到着、襲撃を開始する」

憂「SGBANKの正面玄関にはセンサーが設置されておりテロリストが正面玄関を通ることによりセンサーが反応、同時に市街地西エリアが封鎖される。」

阿部「封鎖された際に、封鎖エリアに残っていた者は、服についた爆破装置が作動しゲームから強制失格となる。」

巢山「阻止するには君達が各自1枚ずつ持っているカードキーを2枚同時にSGBANK前にある防犯シャッター作動装置に差込みシャッターを閉めなければならぬ急ぎたまえ」

漣「えっ？市街地西エリアって…ここじゃん！！行かないと！！」

## MISSION 2

エリア縮小を阻止せよ！！

現在テロリストが銀行を襲撃するため市街地西エリアのSGBANKに向かっている。

SGBANKの正面玄関にはセンサーがありテロリストが正面玄関を通ることによりセンサーが反応、市街地西エリアが封鎖される。

その際、エリア内に残っていたものは服についた爆破装置が作動し、ゲームから強制失格となってしまう。

阻止するには各自1枚ずつ持っているカードキーを二枚同時にSGBANK前の防犯シャッター作動装置に差込みシャッターを閉めなければならぬ

現時点で西エリアにいるのは

漣「強制失格なんてたまったもんじゃない！」

阿部「さすがにこれは動かないとやべえな」

巢山「SGBANKってどこだ？」

秋山漣、巢山尚治、阿部隆也の3人、それに加えてミッションに向

かっているのは。

憂「エリアが減るのはつらい……」

田島「行ってみつか」

律「今回こそ行かないと」

平沢憂、田島悠一郎、田井中律の3人だ。

栄口「移動するか……」

ゲームスタート直後からずっと倉庫街を動いていない栄口、移動するようだ。

栄口「誰もいない……大丈夫だ」

しかし、その近くにハンター

栄口「……！ハンターいるし」

あわてて戻る栄口、しかし

ハンター「……！！」

見つかった

栄口「うわっ来ちゃった!!」

あわてて逃げる栄口、迷路のように入り組んでいるコンテナの間を逃げる。

ハンター「……………」

うまく視界から消えたようだ…

栄口「今のうちに…」

ハンターから離れたためその足で市民公園ゾーンに移る

憂「お姉ちゃんに行くのかな？電話してみよう…」

ピロロロロ… ピロロロロ…

唯「わっ電話…憂からだ、もしもし？」

憂「お姉ちゃん、今どこ？」

唯「…ひとつ聞いてもいい？」

憂「何？」

唯「こんな事聞きたくないんだけど…裏切ってないよね？」

憂「もちろん裏切ってないよ！！ひどいよ…お姉ちゃん」

唯「ごめん！！ごめん！！私はえっと…神浜警察署の近くにいるよ」

憂「ミッション行く？」

唯「どうしうか迷ってるとこ、憂は行くの？」

憂「うん、エリアが少なくなったら本当に大変だから」

唯「それじゃあ私も行ってみる」

憂「本当！？じゃあSGBANKで合流しよう！！」

唯「わかった、着いたら電話するね。」

ピッ

憂「よかった、お姉ちゃんが来てくれる」

協力者を見つけ安堵する憂、

しかし

??「平沢憂、アクアタワー前にいます。」

裏切り者にその姿を捉えられた…

裏切り者の通報を受けた2体のハンターが平沢憂の確保に向かう

憂「あっハンターが来てる」

ハンターを見つけた憂、近くの路地に逃げ込む、しかし

憂「うそ、こっちからも…」

前から来た別のハンターに挟まれた。

憂「まさか、裏切り者？」

そして

ポンッ

平沢憂　アクアタワー付近にて確保、残り12人（裏切り者通報）

憂「そんな〜どこから見てたの？」

裏切り者に一瞬の隙をつかれた。

西広「『逃走中確保情報』」

唯「『裏切り者の通報により平沢憂確保残り12人』憂、捕まった  
…」

梓「憂ちゃんまで…」

阿部「裏切り者誰だよー！」

ゲーム終了まで残り63分　ミッション終了まで残り8分　逃  
走者残り12人



**MISSION2 Part1} エリア縮小を阻止せよ! } (後書き)**

とあるシリーズのようにバカテスもPSPとかDSでゲーム化しな  
いかな？

けいおんも禁書目録も超電磁砲もおお振りもDSやPSPでゲーム  
化されたり予定されてるのに…

バカテスの試験召喚戦争なんか勉強とアドベンチャーを融合させた  
ような形で面白いゲームになるとおもうのに…

アプリや文月学園オンラインだけじゃなくともっとゲーム業界にも  
進出してこないかな？

## M I S S H O N 2 P a r t 2 エリア縮小阻止に向かう者は (前書き)

遅れてしまいました。

何とかペースに乗れるよう頑張ります。

## MISSION 2 Part 2 エリア縮小阻止に向かう者は

漣 「やっと着いた…」

目的の『SGBANK』に到着した漣、  
しかし、ミッションクリアにはもう一人必要だ。

漣 「とにかく電話・・・律！」

ピロロロロ・・・ ピロロロロ・・・

律 「どうした？」

漣 「律ってミッション行ってる？」

律 「今、向かってる真つ最中」

漣 「私、もうSGBANKの前にいるの」

律 「本当か！？急いでいく!!」

漣 「頼む」

律に協力を頼んだ漣、しかし律は現在かなりの距離がある。果たして間に合うのだろうか？

ミッションクリアに向け倉庫街エリアから市街地西エリアへと向かう田島悠一郎、

その視線の先には・・・

ハンター「……………」

ハンターが

鉄材の影に身を隠しハンターが移動するのを待つ、そして

田島「よしっハンターがいなくなった」

ハンターが曲がり角の向こうに消えたのを確認、移動を開始するが

その背後から、

ハンター「……………」

別のハンターが、そしてそのハンターが

ハンター「……………!」

田島の姿を捉えた。

田島「つちよ!?!来た!?!」

後ろから迫るハンターにいち早く気が付いた田島、一目散に倉庫街エリアの外へ出て市街地西エリアではなく市街地東エリアの方へと逃げる。

逃げる田島と追うハンター、その差はなかなか縮まらない、これも校内ランキング1位を誇る身体能力の高さの賜物だろう、そして、

ハンター「……………!？」

なんとハンターを振り切った。恐るべき身体能力。

田島「やばい、楽しすぎる。」

ゲームを楽しんでいる田島、しかし

田島「ここまで離れたらミッションは無理だな」

SGBANKからはかなり距離が離れてしまいミッションはあきらめてしまった。

篠岡 「あつあれは…」

水谷 「え〜とここは…？あつ篠岡！！」

水谷文貴と合流した篠岡千代

水谷 「折角2人でいるんだしミッション行かない？」

篠岡 「そうだね、折角人数もそろってるんだし行こう！」

偶然他の逃走者とであった水谷と篠岡、急遽ミッションに挑むようだ。

2人がいるのは市民公園エリア、そこからSGBANKまでは直線にして500m

移動を開始する2人、しかし

そんな2人の様子を遠くから眺める人物が、

?? 「水谷文貴と篠岡千代、市民公園エリア、噴水付近にいます。

」

裏切り者だ。

裏切り者の通報を受けハンターが2人の確保に向かう

水谷 「…っ！篠岡！！ハンター来てる！！」

篠岡 「えっ！？」

遠くから走ってくるハンターをいち早く見つけた2人。

一目散に逃げる。

しかし2人が逃げているのは公園中央の大通り、直線の一本道である。

その為、ハンターと2人の差が見る見る縮まっていく。

そしてその差が10mをきったその時、

水谷 「篠岡、逃げろ！！」

突如、水谷が切り返し、逆方向に逃げ始めた。

ハンター「・・・！！！！」

もちろんハンターも切り返した水谷を追う、そして・・・

ポンッ

水谷文貴 市民公園エリア浜風ロード付近にて確保残り10人（裏切り者通報）

水谷 「悔しいけど…まっ、篠岡が逃げただけ良いか。」

自らおとりになった男…

篠岡 「水谷君、ありがとう」

巢山 「『確保情報』誰だ…」

唯 「『浜風ロード付近にて水谷文貴確保、残り10人』」

澪 「『なおこれは裏切り者の通報によるものである』、また裏切り者か…律は大丈夫か？」

梓 「……これで残り10人」



SGBANKに向かう律、しかし

律 「ハンター邪魔だよ、何でこの周りに沢山いるんだ？」

ハンターを目撃し思うように動くことが出来ない。

ゲーム終了まで残り59分

ミッション終了まで残り4分

## MISSION 2 Part 2 エリア縮小阻止に向かう者は（後書き）

7月からフジテレビで「NO・6」がアニメ化されるそうですね。  
あさのあつこさん原作の人気、近未来SF小説。

個人としては「テレパシー少女蘭」が大好きだったんだよね。再放送またやってくれないかな？というより「テレパシー少女蘭」思ったより俺らのグループ内の認知度低かったんだよね。

主人公、磯崎蘭役の声優が加藤英美里さん大原先生役が折笠富美子さんだったりと結構個人的には大好きだったんだけどな。

とにかく「NO・6」は期待します。楽しみです。

7月は気になるアニメが一気にスタートするのでかぶらないかいまさらながら不安です。

あとバカテス第二期はOPを歌っていた麻生夏子さんがEDに回りOPにLarval Stage Planningさんを起用したそうです。

milk tubさんじゃないのが残念ですが楽しみです。

M I S S H O N 2 P a r t 3 エリア縮小は阻止できたのか?? (前書き)

遅くなりました。

今回は、テスト勉強の息抜きがわりの投稿なのでまた間が開きそうです。

MISSION2Part3 エリア縮小は阻止できたのか？

SGBANK前に隠れ、田井中律の到着を待つ秋山漣  
その視線の先には

ハンター「……………」

ハンターが

その距離15m

漣「頼むから気付くなよ……………ってあれ？ハンターが急に走って  
いった」

実はこのとき、漣が見たハンターがある逃走者を捕らえていた。

それは……

律「ハア…ハア…」

阿部「この先だ」

巢山「あっ！あったSGBAN…って来てる！！」

巢山尚治だ。

逃げる巢山、追うハンターとの距離は20m、  
細い路地に入り逃げる、しかし、その路地の曲がり角の先には、

ハンター「……………」

別のハンター

巢山「ここを曲がればってうわああ！！！！」

ハンター「……………！！」

ポンッ

出会い頭だ

巢山「嘘だろー！！」

ハンターは神出鬼没、どこから現れるかわからない

巢山尚治　馬車通り付近にて確保残り１０人

阿部　「間に合いそうにないな……」

ミッションクリアのためＳＧＢＡＮＫに向かっていた阿部

阿部　「……………今回はあきらめよう」

残り時間が少なく距離も長いためミッションをあきらめた。  
これによりミッションクリアに向かっているのは田井中律ただ一人になった。

そして律の場所からＳＧＢＡＮＫまでは６００ｍ

果たして間に合うのか？

漣 「律・・・」

律の到着を信じて待ち続ける漣

ミッション終了まで残り1分30秒

律 「やばい・・・」

花井 「残り1分15秒!!」

泉 「やばいよこれ行ってる人いるの?」

憂 「いたとしてもぎりぎりかも・・・」

律 「時間：少ないけど行くしかない!!」

必死にミッションクリアへ走る律

そしてミッション終了まで残り：1分

59

58

梓

「残り45秒、誰が行ってないの？」

唯

「誰か・・・」

律

「50秒、間に合ってくれ・・・!!」

5  
2

5  
3

5  
4

5  
5

5  
6

5  
7



4  
5

4  
4

4  
3

4  
2

4  
1

4  
0

しかしその時

漣 「もうだめだ、あきらめよう」

律は間に合わずあきらめたと思い漣はSGBANKから離れ西市街

地エリア脱出に向かってしまった。

しかし、そのことを律は知らない

ミッション終了まで、残り30秒

2  
9

2  
8

2  
7

2  
6

2  
5

$\frac{1}{8}$

$\frac{1}{9}$

$\frac{2}{0}$

$\frac{2}{1}$

$\frac{2}{2}$

$\frac{2}{3}$

$\frac{2}{4}$

1  
7

1  
6

1  
5

1  
4 阿部「何とか間に合った」

1  
3 漣「ギリギリ……」

ミッションをあきらめそれぞれ西市街地エリアから脱出した2人

しかしその時

律 「着いた……」

何も知らない律がSGBANKに到着、  
しかし、そこに漣の姿はもうない

律 「えっ…？ 零は？」

零がないことに戸惑う律

その時

キキィー！！

棒立ちとなっている律の横に停車する黒いライトバン

律 「…っ！！ やばっ」

我に振り返ってその場を離れる律、しかし時すでに遅し

1  
0

9

2

3

4

吉井 「っしやー！！行くぞー！！」

その時、  
車からテロリストが姿を表し

6

7

8

そして

ピーピーピーピーピー

センサーが反応した。

そしてそれと同時に

ピーピーピーピー

律 「……！」

律の服についた爆破装置が作動した。





田井中律      ミッション失敗により強制失格      残り9人

ピリリリリ・・・      ピリリリリ・・・

篠岡 「あつ結果がきました。『ミッション？結果・・・ミッション失敗』！！えゝ誰も止められなかったんだ」

栄口 「『これにより西市街地エリアが封鎖されエリアは全体の3分の2となる』」

漣 「えつと…えつ！？」また、ミッション終了時にエリアに残っていた田井中律がSGBANK付近にて爆破装置が作動、強制失格となった。これにより残る逃走者は9人」  
嘘…私、律を見捨てて見殺しにしちゃった…」

自分が律を信じて最後まで待っていればミッションも失敗せず律も強制失格にならずにすんだのにと漣は悔やむが後悔先に立たずである。

一方その頃、神浜警察署のテロ対策本部では

警部 「不覚にも『Bloody July』の悪事を我々は、止めることが出来なかった…」

再び捜査会議が行われていた

警部 「だが、悪い話だけではない、山中！」

山中 「はい、たった今『Bloody July』の中で潜入捜査をしていた私の部下から連絡が入りました。リーダーの坂本が今回銀行から奪った金で大きな取引を行うらしいのです。場所は市民公園うまくいけば相手組織もろとも一網打尽に出来ます。このチャンス逃すわけには行きません」

百枝 「警部！相手はどのような手を使ってくるかわかりません。ですので我々は警察機動隊の出動を要請します。」

『おおー！！』

『鬼の西村か、確かに彼の部隊なら相手がどんな相手であろうと互角以上に戦える』

『これならいけるぞ』

警部 「うむ、了解した。よし、出動だ！！この大チャンスを逃すなよ！」

「」「応！！」「」

こうして、警察の威信をかけた作戦が始まったのだが…

西村 「何？バスの鍵が無いだ！？」

隊員 『今日の担当の浜田が鍵を持ったまま交通整理に出てしまったようなんです。』

西村 「どうするんだ！？もう時間が無いぞ」

このトラブルが逃走者にとって大チャンスとなる

残り時間 46分

残り 9人

賞金 64万8000円

M I S S H O N 2 P a r t 3 エリア縮小は阻止できたのか？（後書き）

ついに西村教諭が参戦、テロリスト大ピンチ

それはそうと今日の逃走中、テスト中だけど見たい…

MISSION3Part1 脱落者を復活させる (前書き)

遅くなつてすみません!!

本当に、本当にすみません。

## MISSION3 Part1 脱落者を復活させる

ピリリリリ…

ピリリリリ…

栄口「メール・・・『ミッション3』!!」

阿部「『警察がテロリストの制圧のため機動隊の出動を決定した。しかし、移動用のバスの鍵を持った隊員がいないため、出動が出来ない状態である』無能すぎだろこの警察…」

唯「『残り45分までにその隊員を探し出し鍵を受け取り神浜警察署のバスまで届ければ』」

憂「お礼に牢獄の中から4人を復活させる事が出来る』!!」

確保者「『おおー!!』」

憂「『ただし復活した者が賞金を獲得した場合、その賞金の半額をミッション成功者に渡さなければならない』だって、みんな助けてー!!」

## MISSION3

脱落者を復活させる!!

テロリストを一網打尽にするため、警察が警察機動隊の出動を決定した。

しかし機動隊員を乗せるバスのキーを持った隊員が交通整理に出てしまっているため出動出来ないでいる。残り35分までにその隊員を見つけ出し鍵を受け取りバスまで届ければお礼に牢獄から4人を復活させる事が出来る。ただし復活したものが賞金を獲得した場合その半分を助けたものに渡さなければならない。なお、キーを持つ

ている隊員の特徴はバスの前にいる機動隊長が知っている。

このミッションに向かうのは・・・

梓 「憂や律先輩のためにも行きます。」

部活の仲間とクラスメートを助けに行く中野梓

篠岡「さっき水谷君が私をかばって捕まったから、今度は私が助ける番だと思うので行きます。」

助けてもらった恩を返しに行く篠岡千代

漣 「ここで行かないと律に会わず顔がない！」

自分のせいで強制失格になってしまった親友を助けに行く秋山漣

動き出すのはこの3人のようだ。

市民公園エリアの隅に身を隠す栄口勇人

栄口「ミッションには行きたいけどお金がかかってるからなあ…  
あまりお金にがめついと思われたくないし」

実は現時点でバスのある神浜警察署に一番近いのは彼なのだがどう  
やら行かないようである。

栄口「西広とか行きそうだな、電話してみよ」

ピロロロロ… ピロロロロ…

西広「電話、栄口からだ」

ピッ

西広「どうした？」

栄口「西広って今回のミッションどうする？」

西広「行くべきなんだろうけど、ハンターがそこらじゅうにうろつ  
いてて動けないんだ」

栄口「…西広って今どこいんの？」



西広「悪いけど、そればつかしは言えない、誰が裏切り者かわからないし」

今残っている9人のうち一人は裏切り者、逃走者は互いに疑心暗鬼になっている。

あいてが誰であろうと場所は教えられない

栄口「だよな〜じゃ」

西広「それじゃ」

ピッ

栄口「……………俺あんま信用されてないのか？少しむなしい…」

栄口にはチームメイトからも信用されていないことがショックだったようだ。

そのころ秋山漣はミッションに向かうため神浜警察署に向かった。

漣「急がないと！」

一心不乱に走る漣、そのとき

漣 「・・・きゃー!!」

?? 「うわっ!!」

ゴチン!

突如、曲がり角から出てきた人物とぶつかってしまった。  
互いに尻餅をつく

?? 「いててて・・・ゴメンゴメン大丈夫? 怪我とかしてない?」

漣 「はっはい...大丈夫です」

?? 「ごめんな、俺が前をよく見てなかったから...」

警察の制服を着た男は、立ち上がろうとする漣に手を貸しながらそう言った。

漣 「いいえ前を見てなかったのは私の方なので、あつ腕章を落としてますよ」

そういつて漣は彼の落としたものらしき、赤色の腕章を拾い手渡した。

?? 「あっどうも」

あわてて腕章を腕に着ける男

漣 「それじゃあ、私、先を急いでいるので、すいませんでした」

そう言い再び駆け出す漣

?? 「あつあの・・・行っちゃった・・・」

男が再び声をかけようとしたとき漣はかなり遠くを走っていた。

唯 「ここ何処だろ・・・？」

道に迷ってしまった平沢唯、あてもなくさまよい歩いていた。

と、その時...

梓 「あつ！！唯先輩！！」

幸運にも唯の後輩、梓があらわれた。まさに地獄で仏

唯 「あゝずくにゃん！！」

梓 「にゃん！！」

当然のごとく、梓に抱きつく唯

梓 「ゆっ唯先輩もミッションに行くんですか？」

唯 「ほえっ？行くつに思つにも今、さまよい歩いてて今何処なのかすらさっぱり……」

梓 「唯先輩……ここ神浜警察署の真横ですよ、とにかく行きましょ  
う」

唯 「……………」

思わぬ事実には啞然となる唯を梓は引つ張っていく。

花井 「誰か来た……！」

水谷 「誰？誰！？」

憂 「あれは……梓とお姉ちゃんだ、お姉ちゃん……！」

唯 「憂……！」

ひさびさの再開を果たした2人だが唯の目的は再開ではなく救出だ

梓 「えっと、メールに書いてあったバスは…ありました！」

メールに書かれたバスを探していた梓、どうやら警察署の中に停まっていた目的のバスを見つけたようだ。

梓 「ありましたよ唯先輩！！行きましょう！」

そして梓と唯は、バスの前に立っている1人の人物を見つけた。

唯 「あずにゃん、きっとあの人がメールに書いてあった隊長さんだよ」

梓 「そうみたいですな・・・すみません！」

隊長（演・西村宗一、以降西村） 「ん、なんだ？」

梓 「あの・・・機動隊の方がバスの鍵がなくて困っていると聞いたのですが…？」

西村 「！？ もしや君たち手伝ってくれるのか！？」

唯・梓 「はいっ！」

西村 「それは助かる、君たちには今、町に出ている浜田という私の部下を探して欲しい、彼がバスの鍵を持っているはずだ」

唯 「その浜田さんの特徴って何かありますか？」

西村 「特徴か…特徴と言えるかわからんが浜田は機動隊副隊長とい

う役割でな腕章をつけているんだ。この様にな」

そういうと西村は自分が腕につけている自分が腕につけている紫の腕章を2人に示した。

西村「ただあいつの腕章の色は赤だがな、だがこの管轄で赤い腕章をつけているのはあいつただだ、探すにはそれを手がかりにするといいだろう」

梓「わかりました。ありがとうございます。」

唯「それじゃあ、あずにゃん早く探しに行こう!」

梓「唯先輩、ちょっと待って下さい」

唯「どうしたのあずにゃん?」

梓「聞いた情報をみんなにもメールで知らせようと思います。そのほうが効率が良いと思うので」

唯「なるほど〜!!さすがあずにゃん!!」

梓「そんなことないですよ。…っとこれでよし」

唯と話している間にメールの文面を完成させた梓

梓「これでよし、では唯先輩行きましょう!!」

メールを送信した梓の言葉と同時に2人は再び町へ駆け出した。

ゲーム終了まで41分

ミッション終了まで6分

逃走者9人

## MISSION3 Part1} 脱落者を復活させる (後書き)

かなり前から流田Projectにはまっています。

彼らのアニメソングのカバーはまさに鳥肌物です。

「only my railgun」や「さよならメモリーズ」、  
「君の知らない物語」、「Crow Song」、「No but  
s!」、「My Soul, Your Beats!」これらの曲は必  
聴ですよ!!

現在セカンドアルバム「流田PP」を発売して現在全国ツアー中  
です。

3日まえの11月1日には動画サイトに「映画けいおん!」のED  
「Singing」のカバーをアップという荒業をかましてくれま  
した。

ほかに「けいおん!!」ED「Listen!!」をはじめてT  
Vで放送されてから2時間後にそのカバーを動画サイトにアップし  
たり。(完成度めっちゃ高!!)

「けいおん!!」にポスターで出演、(たしか17話の「部室がな  
い!」だったはず...詳しくは流田Projectブログ参照)

動画サイトにアップしたカバー曲が累計1200万回再生回数を突破

などさまざまな伝説を起こしています。



私、イグツチヨも原宿のツアーファイナルに行くことを検討中！

皆さんも知らない人がいたら聞いてみてください！！  
動画サイトで流田Projectと打てば出てきます。

あと、今まで考えてたことを実践しようかなと考えています。  
詳しくはこの後、書き込む活動報告を見てください。

## MISSION 3 Part 2 脱落者を復活させに向かう者 (前書き)

ただいま、深夜に「けいおん！」を再放送中、見てるだけで映画への期待が高まって仕方がないっ！！

## MISSION 3 Part 2 脱落者を復活させに向かう者

機動隊長から隊員の情報を手に入れた唯と梓、情報を元に脱落者を助けるために町へと飛び出す。

梓 「唯先輩！！ここはいったん二手に分かれましょう、そのほうが効率がいいはずですよ！！」

「わかった！わたしはあっちのほうを探してみる」

梓 「じゃあ、私はこっちを!!」

ミッシェンクリアの確率を上げるため二手に分かれた2人、果たしてうまくいくのだろうか？

一方そのころ

田島 「今日、全然活躍してない、出来ればもっと『ピリリリリリ・・・』なんだ!？」

篠岡 「まさかまた誰か…えっ！？中野梓さんからメールが来ました」

西広 「『たった今、ミッションの隊員についての情報を手に入れました』」

紬 「『みなさんにもその情報をお教えしますのでご協力お願いします』」

阿部 「『隊員は警察の制服に赤い腕章を着けた人で、赤い腕章を着けているのはその人だけだそうですよろしくお願いします。』

中野梓』」

栄口 「赤い腕章？」

赤い腕章という手がかりに戸惑うものがある中、

澪 「赤い…腕章…っ！？もしかして…！」

秋山澪だけは違った、そう先ほど澪とぶつかった人物が赤い腕章を着けていたことを思い出したのだ。

澪 「きつとあの人だ…！」

今度は、今来た道を引き返す澪、ミッション終了まで残り5分を切った、果たして間に合うのだろうか？

篠岡 「赤い腕章…赤い腕章…」

梓 「いつたいどこにいるんでしょうか？」

唯 「ええ…どこにいるの？赤い腕章の人？」

秋山 澪以外の逃走者も『赤い腕章』の手がかりをもとに探す。

ここまで、ミッションに参加していない栄口勇人

栄口 「よしっ…！ ミッション行きます」

どうやらミッションに向かうようだ

今まで隠れていた公衆トイレの裏から表へ出る

栄口 「とりあえずどこに行けばいいんだ？」

地図を取り出し現在地を確認する栄口

その様子を公園の入り口付近からうかがう人物が…

?? 「栄口勇人、市民公園エリア北側入り口付近にいます」

ひさびさに登場した裏切り者だ…

裏切り者の通報を受け、近くのハンターが確保に向かう

裏切り者に通報されたことを知らない栄口

入り口に移動し、再び地図を見る。

その姿をハンターが…

ハンター「・・・！」

捉えた！！

しかし、栄口は地図を見ていて気が付かない。

そして

栄口 「…とりあえず警察署の方に『ポンッ』えっ!？」

地図を見ていた事で、ハンターの接近に気が付かなかったようだ。

栄口 勇人 市民公園北側入り口付近にて確保 残り8人（裏切り者通報）

栄口 「嘘だろ…ハンターどこから来た？」

ピリリリリ…ピリリリリ…

阿部 「また来た、『裏切り者の通報により、栄口勇人確保残り8人』」

篠岡 「本当に誰なの裏切り者!？」

梓 「……………」

紬 「…これで4人目」

4人目の裏切り者の被害者が出たことに逃走者達にも動揺が広がる。

ついに腕章を着けた男と会った場所に戻ってきた秋山漣

漣 「そんなに時間はたっていないし、まだそんなに遠くには行っていないはず……」

ミッション終了まであと3分30秒      ミッションクリアなるか  
？



MISSION3 Part2 脱落者を復活させに向かう者 (後書き)

最近、とある魔術の禁書目録、とある科学の超電磁砲の二次小説を  
始めました。

題名は「とある乱入の転生者達」この小説と同じぐらいの駄文です  
がよろしければそちらもどうぞ。

感想、アドバイス等も待ってます。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2631r/>

---

逃走中 波間にゆれる陰謀

2011年11月17日19時36分発行